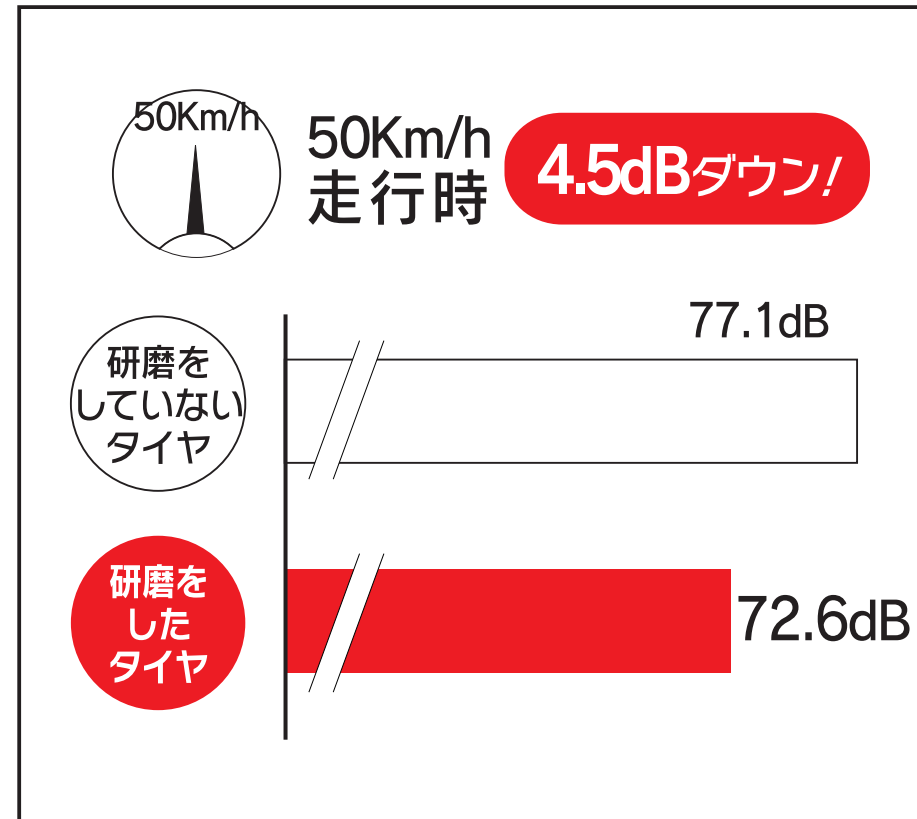
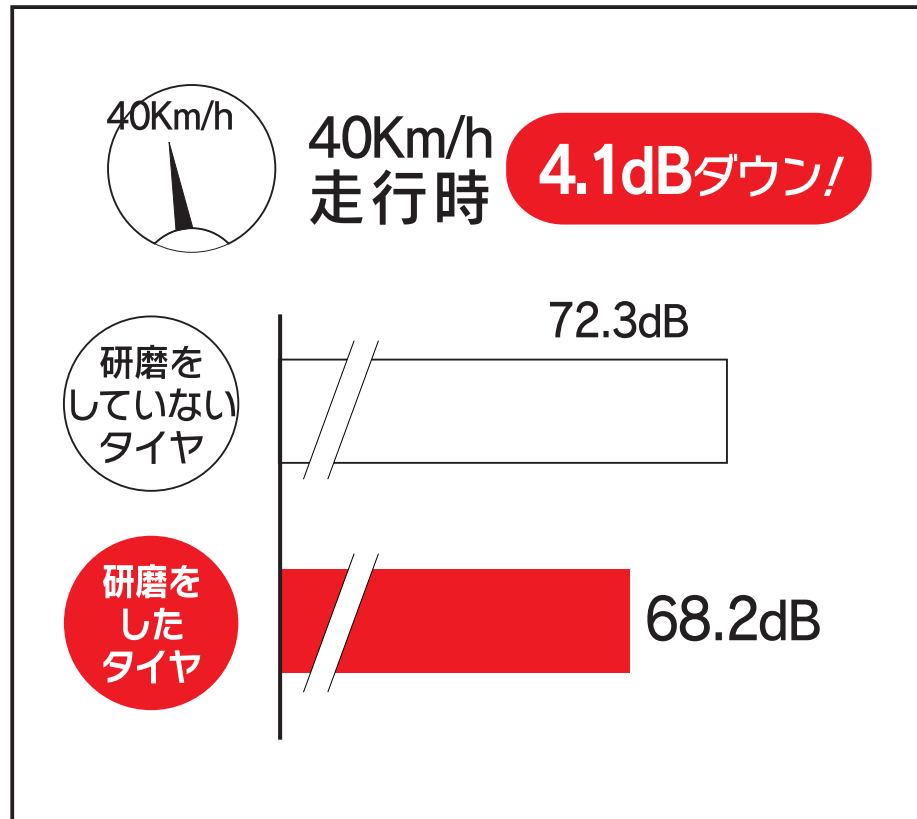


騒音テストデータ

騒音テストデータ



●騒音テスト開始



●騒音テストの様子

騒音テスト条件

- 走行路: 氷盤路
- 外気温: -2.1℃~-7.5℃
- 氷盤路温: -2.6℃~-6.0℃
- 計測方法: 指定速度で走行し5mの計測区間をニュートラル状態で通過して計測
騒音計と車両の距離を一定にしたラインを繰り返し走行し、計測
- 計測器: 騒音計 型式1015(電子測器製)
- テスト日: 2007年1月4~6日
- テスト場所: 士別市(株)交通科学総合研究所 特設コース圧雪路及び氷盤路
- 試験スタッフ: 北海道自動車短期大学教授 茄子川捷久 他
- 試験車両: 4輪駆動普通乗用車(3名乗車)ABS付
- テストデータ: 各々5回の計測を行い最大値と最小値をカットした平均値
※記載した数値はあくまでも一定の条件で計測されたものです。その数値は車両の性能、気温、路面状況等により変わり、普遍的なものではありません。異なる条件下の数値との絶対比較は出来ません。
- タイヤ条件: 175/80R14 (2004年製)
溝深さ 5.5mm
硬度 68 g/cm2
空気圧 2.0kg/cm2
(型式と製造年月が同じ使用済みタクシー用タイヤを8本用意し、その内の4本を研磨し残りの研磨していないタイヤと騒音を比較した)
- 研磨状態: #40の研磨ベルトで研磨した後#60の研磨ベルトで仕上げ